

## 好調なスマートフォン販売を背景に増収増益を達成

### 2018年度上期(1~6月)の業績

2018年度上期(1~6月)における携帯電話等販売市場は、競争促進を図る総務省の政策のもとで格安スマホ等のMVNOや大手通信事業者のサブブランドの普及が進み、大手通信事業者のメインブランドにおいても多様な料金プランが展開される等、お客様の選択肢が拡大しております。また、お客様が安心して携帯電話サービスを利用できるよう、消費者保護ルールの整備・強化が引き続き進められております。

このような事業環境の中、当社グループは、中国・九州地域でソフトバンクショップ16店舗を運営する大栄電通株式会社様と代理店契約を締結する等、店舗網を拡大いたしまし

た。こうした店舗数の増加に加え、キャリアショップ運営部門においては通信事業者各社の様々な施策に注力したことにより、スマートフォンを中心に携帯電話の販売台数が増加いたしました。また、法人営業部門においても携帯電話販売とPC販売が好調に推移いたしました。以上の結果、2018年度上期(1~6月)における業績は、売上高48,363百万円(前年同期比12.7%増)、営業利益1,898百万円(同34.7%増)、経常利益1,912百万円(同35.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,260百万円(同49.6%増)となり、増収増益を達成いたしました。



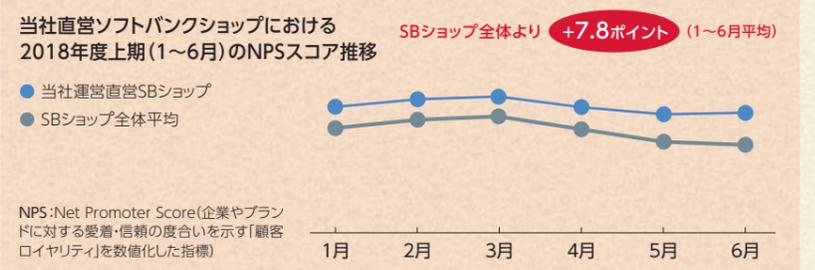
代表取締役社長 西川 猛

### 店舗網の拡大と従業員・顧客満足度向上に注力

2018年度上期(1~6月)は、直営とFCを合わせた運営キャリアショップ数が25店舗増加し、計311店舗(6月末現在)となりました。また、既存店における販売台数の底上げを目的に10店舗で移転・改装を実施したほか、ソフトバンク部門においては、通信事業者が推進するワイモバイルの商品やサービスを取り扱う「デュアルショップ化」施策に注力し、ワイモバイルの販路拡大による幅広い需要の取り込みをスタートさせました。

これにあわせて、従業員の退職率低減に向けた取組みや、従業員のモチベーションアップによるCS(顧客満足度)向上の取組みにも注力いたしました。まず退職率低減のための取組みとしては、残業時間低減、有給取得及び連休促進等による「ライフワーク・バランスの推進」や、「退職金制度の充実」、他にもヘビークレームの心理的ストレスを軽減することを目的とした「顧客クレームの従業員専

用窓口設置」等を実施いたしました。接客面においては、数年前から社内独自の表彰制度により啓蒙を行う等、地道にショップスタッフのCS(顧客満足度)向上に対する動機づけの取組みを続けてきたことが功を奏し、通信事業者が測定するNPSスコアにおいて効果が表れております。(右図参照)



### 連結配当性向の引き上げにより株主還元を充実

2018年度通期(1~12月)の業績につきましては、売上高95,000百万円(前期比6.9%増)、営業利益3,000百万円(同4.8%減)、経常利益3,000百万円(同5.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益1,950百万円(同10.6%減)を予想しております。2018年度上期(1~6月)業績の通期計画に対する進捗率は、売上高で50%強、各利益でいずれも60%強となっておりますが、2018年度下期(7~12月)見通しについては

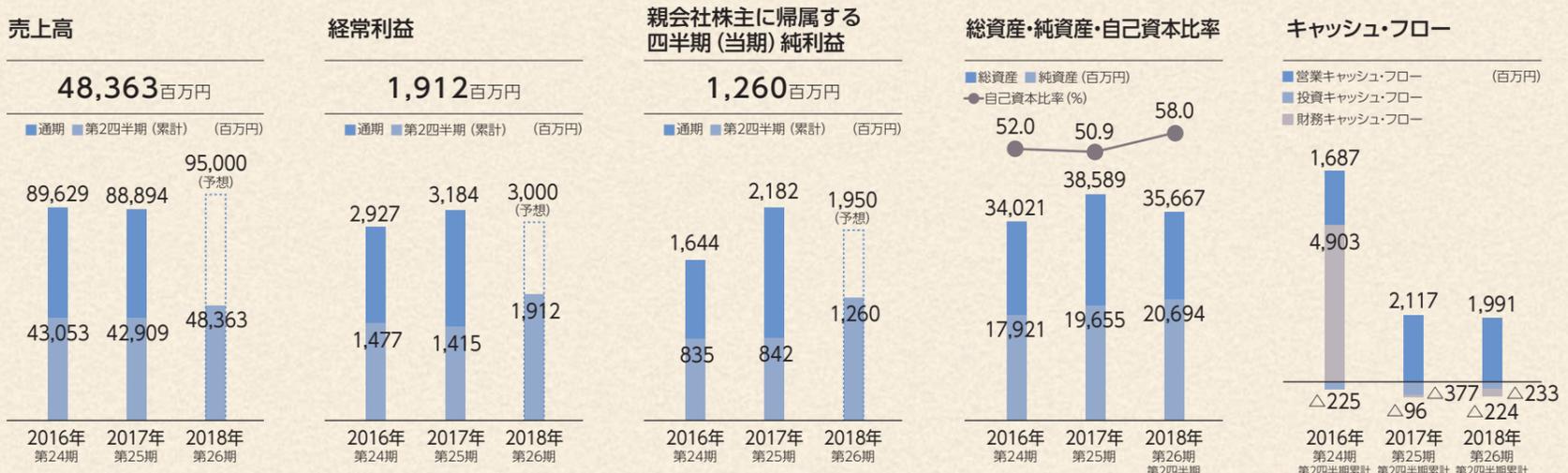
2018年9月に発売開始を見込んでいたスマートフォン新機種を含めて携帯電話販売の動向の見極めが必要な状況であり、通期連結業績予想数値の修正が必要となった場合には速やかに開示してまいります。

株主の皆様への利益還元につきましては、業績連動型の配当を実施するとともに、連結配当性向の段階的な引き上げを行い、2020年12月期までに30%に引き上げる方針です。この方針のもと2018年12月期の中

間配当につきましては、1株あたり33円の配当を実施いたしました。なお、年間配当につきましては、期末配当1株あたり33円とあわせて1株あたり66円を予定しております。

今後も当社グループは、中長期的な安定した成長を目指し、株主還元を充実させることにより、株主の皆様への期待に応えてまいります。株主の皆様には今後もより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## Financial Highlight 【財務ハイライト】



# 情報通信機器販売サービス事業の 着実な成長に向けた取組み

キャリアショップを取り巻く環境は、総務省による競争促進政策の推進や消費者保護ルールの整備等が進む一方で、「5G(第5世代移動通信システム)」による大容量ネットワークの実用化やモバイルを軸とした「IoT」分野等の技術革新により、更なる発展が期待されます。当社グループでは、「情報通信機器販売サービス事業で着実な成長を続ける」を中期定性目標の一つとして掲げており、中核ビジネスであるキャリアショップにおいては、「店舗網の拡大」と「既存店の収益向上」を基本戦略とすることにより成長を目指してまいります。ここでは2018年度上期(1~6月)における取組みをご紹介します。

## 戦略① 店舗網の拡大

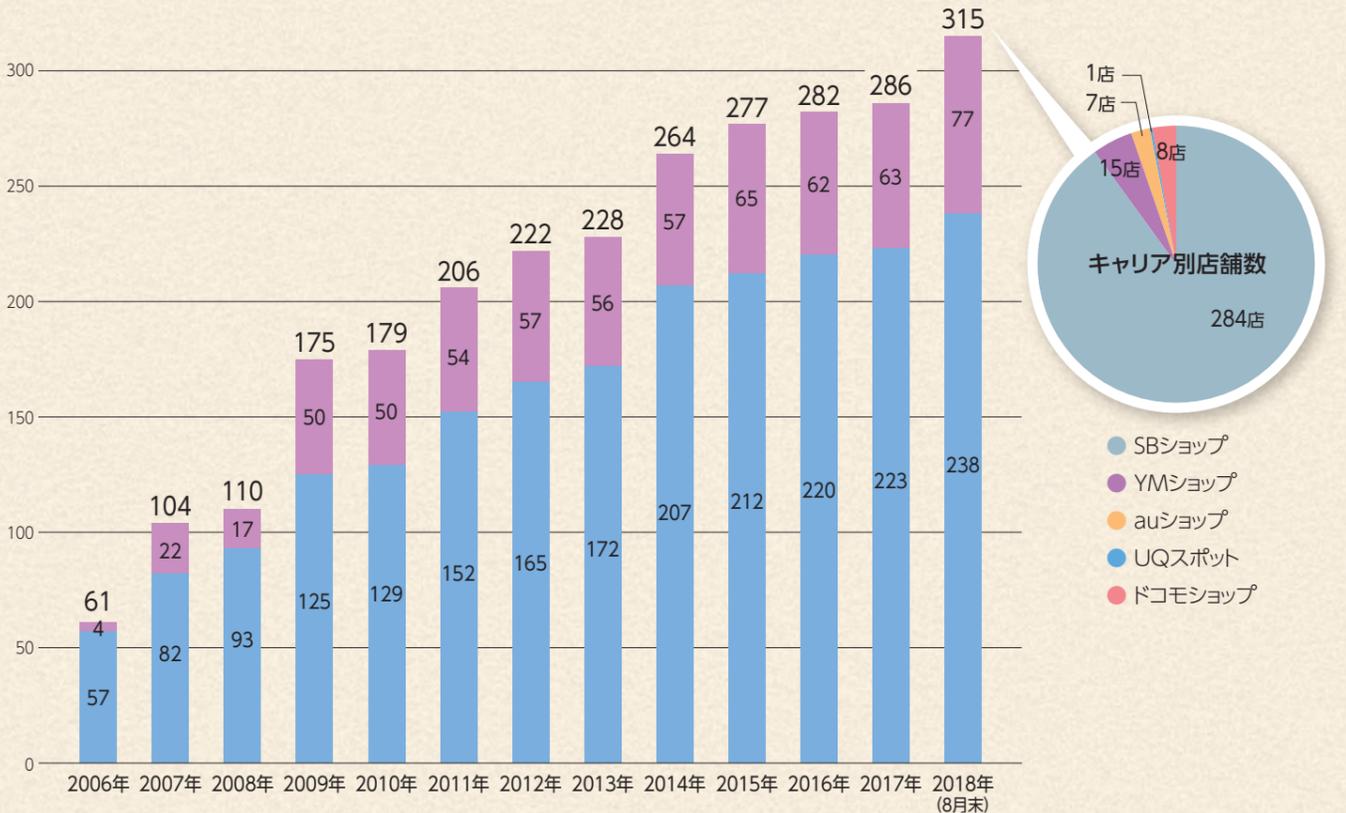
### 運営キャリアショップ数が300店舗を突破

2018年度上期(1~6月)における運営キャリアショップ数は、大栄電通株式会社様との代理店契約締結によるFC店舗の増加等で計25店舗増加し、2018年6月末時点で311店舗となりました。この流れは2018年度下期(7~12月)も緩やかに続き、店舗数は若干増加する見通しです(2018年8月末時点:315店舗)。

### 店舗承継の実施回数は通算45回に

直営キャリアショップでは主に承継により店舗数が増加し、これまで承継を実施した回数は通算で45回となりました。ここ数年に譲り受けた店舗は元々採算性が厳しいために前運営会社により手放されたケースが殆どで、こうした店舗で収益を安定して創出していけるようになるためには、抜本的な改善策を打つ必要があります。これら店舗につきまちは、移転・改装の追加実施や他エリアからの人員の投入等によるテコ入れを実施し、来期以降の収益化を目指してまいります。

■ 運営キャリアショップ数推移 (単位:店) ■ FC ■ 直営



## 前オーナー様の想いを継ぐ

2018年7月初めに、東京都多摩地域にあるソフトバンクショップ3店舗を承継いたしました。前オーナー様は、一定規模の店舗網を持たないと利益が出にくい昨今の苦しい

状況下においても、お客様と従業員を大切にされ、当該店舗の運営を続けてこられました。

この度、前オーナー様は当社をご信頼いただき、当該店舗と、そこで

働く従業員の方々に託してくださいました。新たに仲間に加わる従業員の方々の信頼に応えるために、また何より、これまでこの店舗をご愛顧いただいていたお客様の信頼に応えるために、前オーナー様の想いを継いでまいります。

- ① ソフトバンク聖蹟桜ヶ丘 東京都多摩市関戸2-39-19
- ② ソフトバンク南大沢 東京都八王子市南大沢2-28-1
- ③ ソフトバンク矢野口 東京都稲城市矢野口 629-3



## 新潟県、6店舗体制へ

この業界ではドミナント戦略(ある地域内において、一定数の店舗を展開することにより、経営効率を高める一方で、地域内でのシェアを拡大し、競争優位に立つことを狙う戦略)に基づき、店舗展開をすることが重要です。東名阪に集中して店舗を展開していることが当社の特徴ですが、2018年6月には「新潟県エリア」においても6店舗体制を構築することができました。

バルパークが新潟県に初めて進出したのは、遡ること2009年

6月に譲り受けた「ソフトバンク桜木(その後の移転により現在は「ソフトバンク新潟駅南笹口大通)」【①】が最初となります。さらにその1ヶ月後の2009年7月、新たに2店舗【②、③】を譲り受けたことにより、3店舗まで拡大いたしました(その後②③とも大改装を実施しています)。そして約9年の年月を経て、2018年3月に1店舗【④】、5月に1店舗【⑤】、6月に1店舗【⑥】の計3店舗を譲り受けたことにより6店舗体制となりました。

同一エリアにおける店舗数が5店舗以上になると、人材マネジメントの面で良い効果が期待できるようになります。例えば、スタッフが風邪等で急に欠勤となってしまった場合に、近隣店舗のスタッフがヘルプ要員として出勤するといったシフト調整が容易になることや、スタッフが増えたことで、良い意味での競争意識が働き、様々な能力が向上していくといった効果が見られます。2018年7月、地元新潟在住の女性店長がエリアマネージャーに昇進し、今後さらに、地場に根差した強いチームワークが出来ると期待しております。



- ① ソフトバンク新潟駅南笹口大通 2009年6月承継 新潟県新潟市中央区米山3-2-11
- ② ソフトバンクアピタ新潟亀田 2009年7月承継 新潟県新潟市江南区鶴ノ子4-466
- ③ ソフトバンク新潟大学前 2009年7月承継 新潟県新潟市西区坂井字村上717-1
- ④ ソフトバンクアクロスプラザ長岡 2018年3月承継 新潟県長岡市沖田1-6
- ⑤ ソフトバンク古町 2018年5月承継 新潟県新潟市中央区東堀前通6番町1058-1
- ⑥ ソフトバンク弁天橋通り 2018年6月承継 新潟県新潟市中央区弁天橋通2-6-20

取締役就任ご挨拶



取締役 営業本部長  
兼 営業本部SoftBank東日本事業部長  
**尾登 知範**

情報通信機器販売サービス事業の成長を加速させていく

株主の皆様におかれましては、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2018年3月28日に開催された第25回定時株主総会の決議を経て、取締役に就任いたしました、尾登 知範(おと ともり)と申します。  
2004年に当時店長として働いていたボーダフォンショップの運営会社がベルパークにM&Aをされ

る形で当社グループの一員となりました。その後、関東地域のエリアマネージャー、東海地域の責任者を経験し、現在はソフトバンク部門とワイモバイル部門を管轄しております。  
本事業年度より取締役として経営に参画させていただき運びとなりましたが、キャリアショップの現場出身ならではの経験を活かし、情報

通信機器販売サービス事業の基本戦略である「店舗網の拡大」と「既存店の収益向上」の推進を今後さらに加速させていくことで企業価値の向上に努め、株主の皆様をはじめステークホルダーの皆様にとっての「素敵な未来」に貢献してまいります。株主の皆様には、今後もより一層のご支援と同時に末永いお付き合いをお願い申し上げます。

戦略② 既存店の収益向上



ソフトバンクイオンモール新大塚(1月改装)



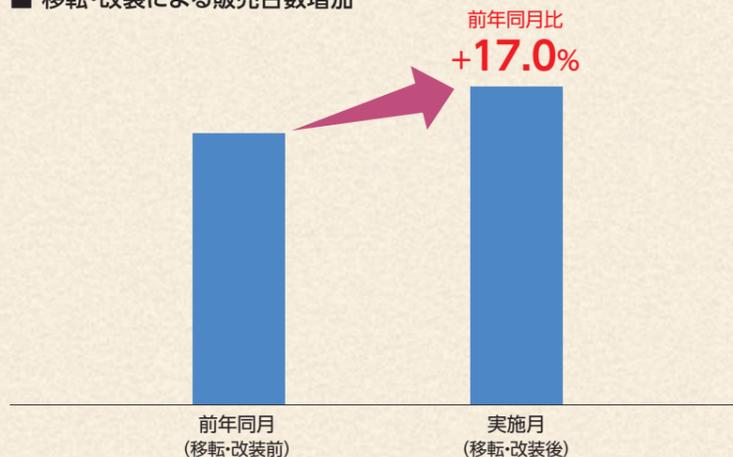
ソフトバンク町田ジョルナ(3月移転)

キャリアショップの競争環境は刻々と変化しています。例えば、かつては繁盛店が数多くあった山手線ターミナル駅等の都心店舗においては、現在は家電量販店と顧客を奪い合い、収益的に苦戦している状況にあります。一方、都心以外の店舗についても、かつての繁盛店がスランプに陥ることはまれではなく、本事業が着実に成長していくためにはこのような不振の原因を分析し、好立地への移転もしくは増床等の改装工事の実施により集客を最大化させていく等のテコ入れが重要になります。2018年度上期(1~6月)は、既存店において10店舗の移転・

改装を実施いたしました。これら10店舗につきましては、携帯電話の販売台数が前年同月比で17%増加している等、移転・改装の効果が始まっております。

当社グループでは今後も既存店の移転・改装などきめ細かい改善を施すことで、より収益性の高い販売網を構築してまいります。

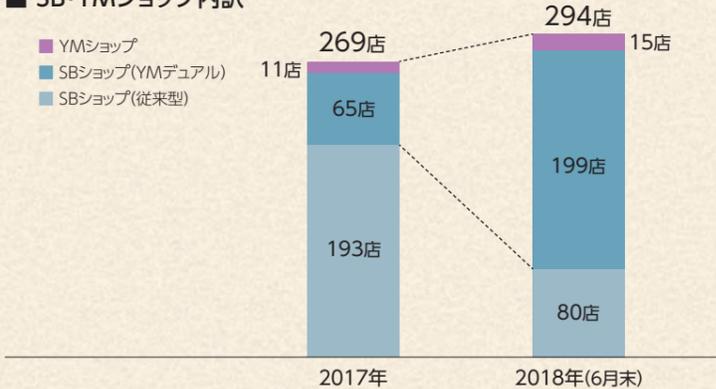
■ 移転・改装による販売台数増加



2018年度上期(1~6月) TOPIC

ワイモバイルの販路拡大

■ SB・YMショップ内訳



2018年度上期(1~6月)は、通信事業者の施策により、ソフトバンクショップのデュアルショップ化(ソフトバンクショップにおいてワイモバイルの商品及びサービスを同時に取り扱うこと)を積極的に推進いたしました。それを受け、2018年6月末時点で当社グループ運営のソフトバンクショップ279店舗中、199店舗がデュアルショップとなりました。お客様はソフトバンクとワイモバイルの両ブランドから商品・サービスを選択することができるようになり、

ショップスタッフの提案力のさらなる充実が重要となっていくと考えられます。当社グループでは、引き続きショップスタッフの接客力とコンサルティング能力を磨き、多くのお客様にご満足いただける商品・サービスの提供を目指してまいります。



ソフトバンク東金(デュアルショップ)

CSR活動

e-ネットキャラバンへの取組み

スマートフォンやインターネットが普及し、これらは今や日常生活に欠かせない、便利なコミュニケーションツールとなりました。しかしながら、その一方で、それらの正しい使い方を知らない子どもたちが「ネットいじめ」「ネット依存」等の被害に遭うケースも散見され、社会問題にもなっています。当社は携帯電話販売代理店としてこうした問題から子どもたちを守るべく、『e-ネットキャラバン』活動にCSR活動の一環として参画しております。

e-ネットキャラバンは、インターネット上の有害な情報等に

接触することを防ぐためのフィルタリング利用の促進や、インターネットリテラシー・マナー等の向上を目指す啓発活動です。この活動は、一般財団法人マルチメディア振興センターにより運営されているもので、情報通信分野等の企業・団体と総務省・文部科学省による協力のもと、全国に認定講師を無償で派遣し、小学生から高校生、保護者、また教職員向けに講座を実施しております。当社が正会員として加盟している全国携帯電話販売代理店協会(以下「全携協」)も、e-ネットキャラバン協力団体として参画しております。

当社では、2018年度上期(1~6月)において、3,570名(児童生徒2,692名、保護者704名、教職員等174名)の方々に対し講座を実施いたしました。これらの講座に対し、受講した方々からは「子どもに今後、携帯電話を持たせる上で知識を得たいと思って参加した。親も子ども、携帯電話を持つ前にきちんとこうした話を聞いて、便利だけでなく危険もあるということを知るべきだと思った」(保護者の方)、「子どもにも大人にも身近で手軽で便利なスマホやインターネットだが、使い方を間違えると怖い思いをすること

がよくわかった。自分の身を守るためにも、こうした講座をこれからも定期的に通じたいと思う」(教職員の方)といったご感想をいただいております。

こうした業界一丸となつてのe-ネットキャラバン活動が評価され、2018年6月1日、全携協が

「情報通信月間」総務大臣表彰を受賞するに至りました。当社も全携協の副会長会社としてこの受賞を励みとするともに、子どもたちが安心・安全にインターネットを利用できる環境の整備に向けて引き続き邁進してまいります。



講座風景



「情報通信月間」総務大臣表彰

# Information 【株主向け情報】

## 株主様アンケート結果

アンケートへのご協力ありがとうございました。一部ではございますが、アンケートの結果をご紹介します。一部ではございますが、アンケートの結果をご紹介します。一部ではございますが、アンケートの結果をご紹介します。一部ではございますが、アンケートの結果をご紹介します。

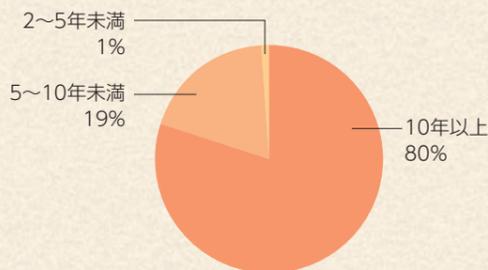
(アンケート実施期間:2018年3月29日~2018年5月28日)

### 株主の皆様からの「ご意見」

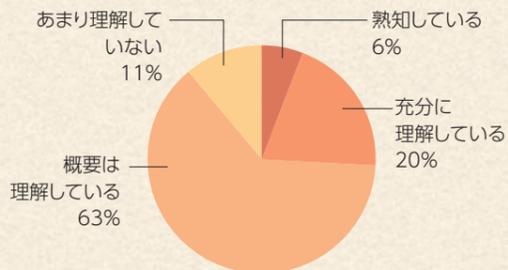
- 株主総会に何度か出席させていただきましたが、議長(社長)の対応に安定感があり、経営再建当初から関わられていた方ならではの信頼感があります。総会の雰囲気も形式的なやりとりで終わらず、社長ご自身の言葉で説明されており、またわざわざ選定されたお土産の提供も含めて、株主総会運営を丁寧に行われていることを強く感じました。こうした取組みが応援しなくなる企業の理由の一つになっていると思います。
- 関西からはなかなか株主総会には出席できませんが、株主総会のお土産ひとつにも社員の方が熱心に取り組んでおられるのが印象的でした。

- 配当性向を上げていくことで、無理のない範囲での増配を、期待しています。
- 株式長期保有者に対する優待制度の導入を検討して欲しいです。
- 今回の株主通信のトップメッセージが危機意識と将来へのビジョンが書かれていて良かったです。
- 結婚相談所、気になります。社会貢献もできる仕事なのでぜひ収益の柱になるよう応援しています。

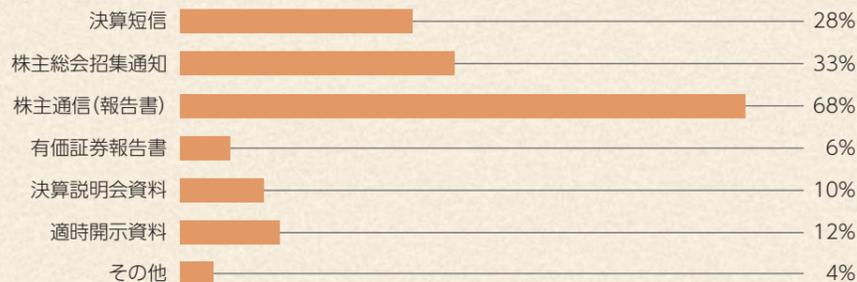
### あなたは株式投資を始めて、どのくらいになりますか?



### 当社の事業内容に関して、どの程度ご理解いただいていますか?



### 当社に関する情報でよくご覧になるのは何ですか(複数回答)?



### 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>



アクセスコード

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



●本アンケートの締め切りは、2018年11月11日です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-6779-9487 (平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

## 役員構成 (2018年6月30日現在)

代表取締役社長	西川 猛
取締役営業本部長	古川 等
取締役管理本部長	石川 洋
取締役 営業本部長 兼 営業本部SoftBank東日本事業部長	尾登 知範
取締役	高須 武男 ※1
取締役	秋田 芳樹 ※1
取締役	大西 利佳子 ※1
常勤監査役	敦谷 敬一 ※2
監査役	齋藤 邦雄 ※2
監査役	山川 隆久 ※2

※1 社外取締役であります。 ※2 社外監査役であります。

## 株主優待

6月30日現在保有の株主様	12月31日現在保有の株主様	保有株式数
●1,000円相当のクオカード	●1,000円相当のクオカード	100株 (1単元)以上
●ベルブライド株主優待 割引券 1枚	●ベルブライド株主優待 割引券 1枚	

■結婚相談所ベルブライドウェブサイト <https://www.bellbride.co.jp/>  
(ベルブライド株主優待割引券について)

- 本券をご利用いただくことで、結婚相談所ベルブライドの「スタンダードプラン」において入会にかかる初期費用(入会金と登録料)を割り引きいたします。
- 本券1枚につき、お一人様一回限り、有効期限内のみ有効とさせていただきます。
- ご本人様だけでなく、ご家族・友人・知人、どなた様でもご利用可能です。
- 他のキャンペーン、割引特典と本券の利用を併用することはできません。

※ご利用方法につきましては、2017年5月12日リリース「配当予想の修正(創立25周年記念配当の実施)及び株主優待制度の一部変更(追加)に関するお知らせ」をご覧ください。  
URL [http://www.bellpark.co.jp/library/IR\\_PDF/press\\_release/2017/release20170512.pdf](http://www.bellpark.co.jp/library/IR_PDF/press_release/2017/release20170512.pdf)

※日本結婚相談所連盟において定められている入会審査の結果によりご入会いただけない場合もあります。

## 株式会社 ベルパーク

本店所在地 〒102-0093 東京都千代田区平河町一丁目4番12号

HPアドレス <http://www.bellpark.co.jp>

## 大株主情報 (2018年6月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社光通信	1,970,100	30.72
株式会社日本ビジネス開発	1,755,000	27.36
西川 猛	1,443,900	22.51
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	484,400	7.55
ソフトバンク株式会社	238,500	3.72
株式会社インフォサービス	94,600	1.47
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	21,300	0.33
パーソルマーケティング株式会社	15,900	0.25
東京海上日動火災保険株式会社	14,400	0.22
第一生命保険株式会社	13,500	0.21

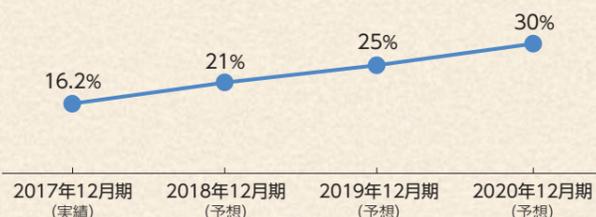
※1 当社は、自己株式を318,902株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
※2 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 配当

基準日	年間配当金		
	中間	期末(予想)	年間(予想)
2018年12月期	33円	33円	66円

【予想】連結配当性向

毎期4~6%の引き上げを予定



## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
基準日	定時株主総会の議決権 毎年12月31日 中間配当 毎年6月30日 期末配当 毎年12月31日 そのほか必要があるときはあらかじめ公告して定めた日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券 取引所	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)
証券コード	9441
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.pronexus.co.jp/koukoku/9441/9441.html">http://www.pronexus.co.jp/koukoku/9441/9441.html</a> (ただし、電子公告によることができない事故その他やむをえない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店又は全国各支店でお支払いいたします。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しています。